

# Cisco Aironet 1560、2800、および 3800 シリーズ アクセス ポイント プラットフォームでの 802.11 におけるサービス妨害 ( DoS ) の脆弱性

**High**      アドバイザリーID : cisco-sa-20171101-aironet1      [CVE-2017-12273](#)  
初公開日 : 2017-11-01 16:00  
最終更新日 : 2017-11-02 18:44  
バージョン 1.1 : Final  
CVSSスコア : [7.4](#)  
回避策 : No workarounds available  
Cisco バグ ID : [CSCve12189](#)

**日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。**

## 概要

Cisco Aironet 1560、2800、3800 シリーズ アクセス ポイントに対する 802.11 関連付け要求フレーム処理における脆弱性により、未認証のレイヤ 2 無線周波数 ( RF ) 近接攻撃者がアクセス ポイント ( AP ) のリロードを引き起こし、その結果、サービス妨害 ( DoS ) 状態が発生する可能性があります。

この脆弱性は、802.11 関連付け要求のフレーム検証が不十分であることに起因するものです。この脆弱性は、攻撃者がターゲット デバイスに不正な形式の 802.11 関連付け要求を送信することによって、不正利用される可能性があります。不正利用されると、攻撃者が AP のリロードを引き起こし、その結果、AP のリロード中に DoS 状態が発生する可能性があります。

この脆弱性に対処するソフトウェア アップデートは、すでにシスコからリリースされています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20171101-aironet1>

## 該当製品

### 脆弱性のある製品

この脆弱性は、Lightweight AP ソフトウェアまたは Mobility Express イメージのいずれかを実行している下記シスコ製品に影響します。

- Aironet 1560 シリーズ アクセス ポイント
- Aironet 2800 シリーズ アクセス ポイント
- Aironet 3800 シリーズ アクセス ポイント

注: Cisco Aironet 1560 シリーズ アクセス ポイント デバイスについては、リリース 8.3.112.0 以降でサポートされています。

## ソフトウェア バージョンを判別して下さい

デバイスで実行されている Cisco Aironet シリーズ アクセス ポイント ソフトウェアのバージョンは、管理者がコントローラの Web インターフェイスまたは CLI を使用して確認することができます。

Webインターフェイスを、ログインは Webインターフェイスに使用するために、**管理 > ソフトウェア アップデート**を選択し、次にページの上で現われるリリース番号を示します。

CLI を使用するために、**show version コマンド**を発行し、次にコマンド 出力の **Image フィールドを実行する AP** の値を参照して下さい。次の例はソフトウェア バージョン **8.3.102.0** を実行するデバイスのためのコマンドの出力を示したものです:

```
AP# show version
.
.
.
cisco AIR-AP3802E-B-K9 ARMv7 Processor rev 1 (v71) with 1030528/668540K bytes of memory.
Processor board ID RFDPP1BS497
AP Running Image      : 8.3.102.0
Primary Boot Image    : 8.3.102.0
.
.
.
```

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

シスコは、この脆弱性が Cisco Aironet 1800 シリーズ アクセス ポイントまたは Cisco IOS ソフトウェアを実行しているあらゆる Aironet アクセス ポイントに影響を与えないことを確認しました。

## 詳細

## セキュリティ侵害の痕跡

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェア アップデートを提供しています。お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェア バージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのようなソフトウェア アップグレードをインストール、ダウンロードする、または、アクセスしたり、その他の方法で使用する場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェア ライセンスの条項に従うことに同意したことになります。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/EU1KEN\\_.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/EU1KEN_.html)

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限りです。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[Cisco Security Advisories and Alerts ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

## サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したがシスコのサービス契約をご利用いただいていない場合、また、サードパーティ ベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを購入先から入手できない場合は、Cisco TAC に連絡してアップグレードを入手してください。

[http://www.cisco.com/en/US/support/tsd\\_cisco\\_worldwide\\_contacts.html](http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html)

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

## 修正済みリリース

カスタマーは、このセクションの表に沿って、適切なリリースへのアップグレードをおこなってください。本アドバイザリは以下のアドバイザリを含むコレクションの一部です。これらも考慮した上、完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

- [cisco-sa-20171101-aironet1](#): Cisco Aironet 1560、2800、および 3800 シリーズ アクセス ポイント プラットフォームでの 802.11 におけるサービス妨害 ( DoS ) の脆弱性
- [cisco-sa-20171101-aironet2](#): Cisco Aironet 1560、2800、および 3800 シリーズ アクセス ポイント プラットフォームでの Extensible Authentication Protocol におけるサービス妨害 ( DoS ) の脆弱性
- [cisco-sa-20171101-wlc1](#): シスコ ワイヤレス LAN コントローラでのシンプル ネットワーク管理プロトコル メモリ リークにおけるサービス妨害 ( DoS ) の脆弱性
- [cisco-sa-20171101-wlc2](#): シスコ ワイヤレス LAN コントローラでの 802.11v Basic Service Set 移行管理におけるサービス妨害 ( DoS ) の脆弱性

次の表では、左の列にシスコ ソフトウェアのリリースを示しています。中央の列は、この脆弱性の修正が含まれた最初の推奨リリースです。右の列は、このアドバイザリ集で説明しているすべての脆弱性の修正が含まれた最初の推奨リリースです。

Cisco Aironet 1560、2800、3800 アクセス ポイント	この脆弱性のための推奨される修正済みリリース	この脆弱および一連のアドバイ
Prior to 8.0	該当なし	8.0.152.0
8.0	該当なし	8.0.152.0
8.1	該当なし	8.2.166.0
8.2	8.2.166.0	8.2.166.0
8.3	8.3.133.0	8.3.133.0
8.4	8.4.100.0	8.4.100.0
8.5	8.5.105.0	8.5.110.0 ( リリース予定 )

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

## 出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティ テストによって発見されました。

## URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20171101-aironet1>

## 改訂履歴

Version	Description	Section	Status	日付
1.1	リリース 8.2 と 8.3 は、お客様の問題に対処するために再ビルドされました。推奨リリースが更新	修正済みソフトウェア	Final	2017 年 11 月 2

	されました。			日
1.0	初回公開リリース		Final	2017年 11月1 日

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。